snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

TP-650／ランドブリーズ・リビングシェル Pro.

取扱説明書

TP-650

このたびは、スノーピーク製品をお買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。
安全にご使用頂くためにも本取扱説明書を必ずお読みください。
取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項

フィールドでは予測不可能な事態が突発的に発生し、時にはプロダクツの性能を超えるような状況に直面する場合もあります。以下の説明がすべての危険な状況を説明している訳ではありません。プロダクツの性能をよく理解したうえで安全なキャンプをお楽しみください。

火気厳禁

□このリビングシェルの素材は難燃性ではありません。リビングシェル内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や特に炭火や練炭を使用しますと酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。

□リビングシェル内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

天候・気象状況

□気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはペグや張り綱がしっかりとつながれているかなどを点検してください。

□急な積雪により、ドアパネルのマッドスカートが雪で覆われたり、天井部に高く積ったりすると危険です。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして換気にも注意をしてください。

設営・設営場所

□風の吹きぬけるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけのよい平坦な場所を選んで設営してください。

□燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなど熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。万一熱源が転倒したり落下しても延焼しない距離を保ってください。

□たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。特に風下側では火の粉を履り、生地に穴をあけてしまう場合があります。

□樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを痛めます。

□リビングシェルの設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。

□必ずペグを打ち込みしっかりと固定してください。

□弊社のテント、タープ、リビングシェルなど縫製製品は常設用ではございません。

初めてお使いになる前に

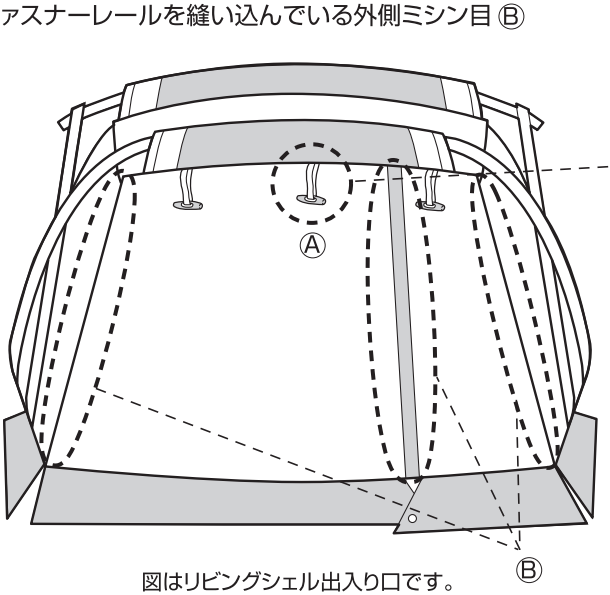
□品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

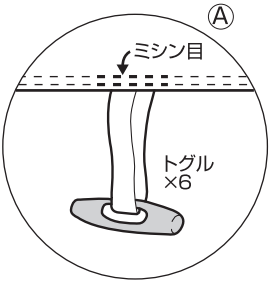
□縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫いつけた部分等、製造の都合上或いは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が侵入することがあります。ご購入時は、シーリング加工は行なっておりませんので、付属のシームシーリング剤であらかじめ縫い目に表と裏からシームシーリング剤を縫い目にそって、塗布してからお使いください。また、ファスナーレールのかみ合わせ部からの浸水は防ぐことができません。道具の配置には十分ご注意ください。

□本製品は結露を軽減する機能を有しておりますが、防止するものではございません。悪条件が重なった場合、本体内部に多量の結露が発生する場合がございますのでご注意ください。

■下記の場所は製品構造上シーム処理ができない為、水が侵入する可能性があります。下記の場所及び浸水が確認された箇所の外側ミシン目にシームグリップ剤を塗布し糸目からの水の侵入を防いでください。

1.ループやトグルを縫いとめているミシン目 Ⓐ
2.ファスナーレールを縫い込んでいる外側ミシン目 Ⓑ





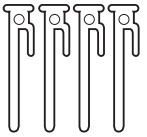
ドアパネル上部
トグル6ケ所。
（反対側も同様です。）

図はリビングシェル出入り口です。

■セット内容 ※ご使用の前に、付属品が全て揃っているかを確認してください。

ペグケース×1

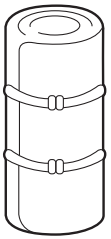
シームグリップ剤×1

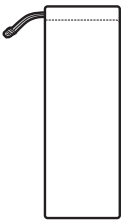

ソリッドステーク
20cm×24本

Oリング付ロープ
2m×4

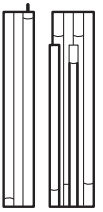
自在付ロープ
3.5m×4、7m二又×2

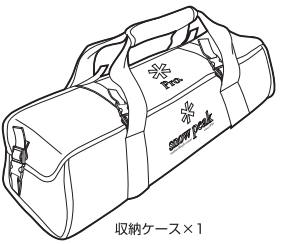
取説冊子×1


リビングシェル×1
コンプレッションベルト×2


フレームケース×1

Aフレーム×2
リッジポール×1
Cフレーム×2
アップライトポール190cm×2





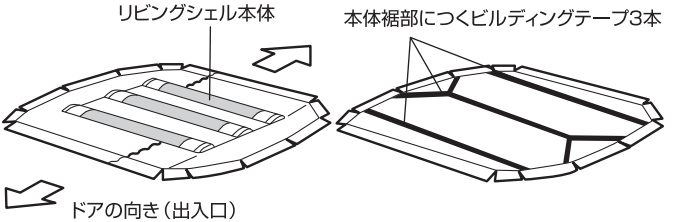
収納ケース×1

□セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、φ3mmロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

設営の手順

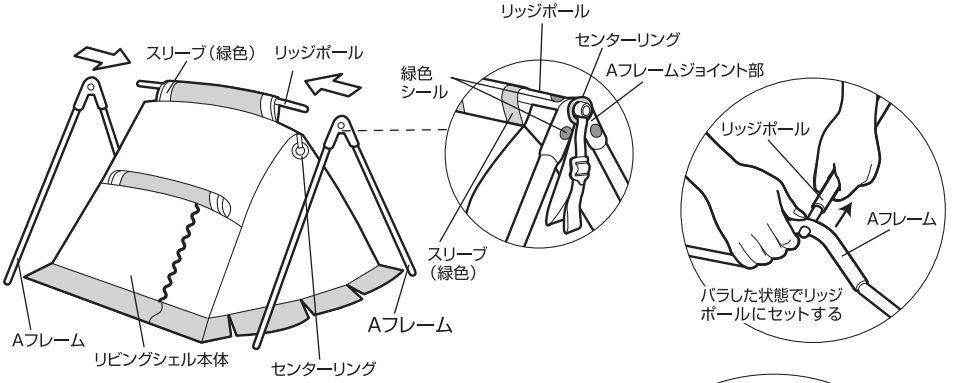
①リビングシェル本体を設営しようとする場所に広げます。その時2つある出入口用ドアパネルの向きを考慮してください。

注）ビルディングテープ3本ともバックルが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。



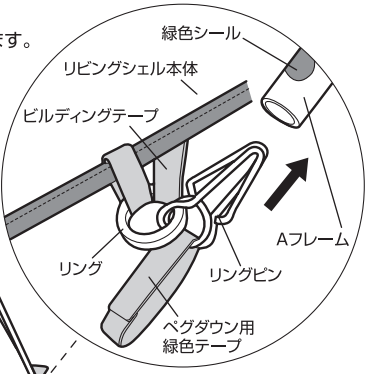
② 初めに、緑色のシールのついたリッジポールを真中の緑色テープのスリーブに入れます。そしてAフレームジョイント部についている2個の緑色シールが外側に向く様にリッジポールをさし込みます。リッジポールの端がAフレームジョイント部の最後までしっかりと入った事を確認し、センターリングを奥まで押し込む様に入れて引っ掛けます。この時点ではセンターリングのテープはテンションを掛けずにゆるめておきます。次に反対側のAフレームにもリッジポールを差し込みます。

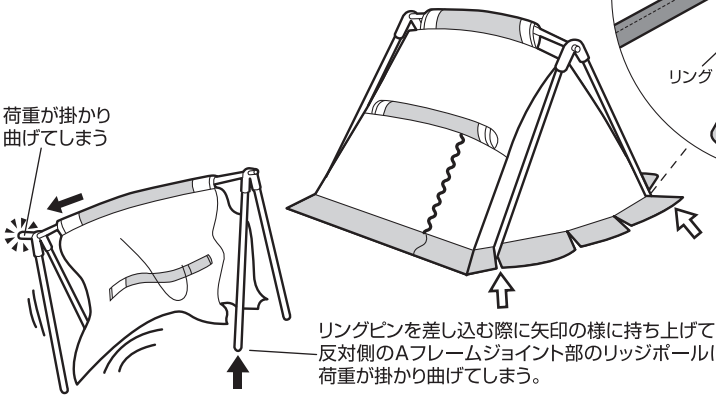
注）Aフレームをリッジポールにセットするときには、Aフレームを全て繋なげてからセットせずに、左右上の1本以外はバラしたままリッジポールにセットしましょう。セットしてから立ち上げることで接合部へのストレスを減らし楽に設営できます。



③本体の裾部にあるリングピンの緑色テープを持ちAフレームに差し込みます。両側のセンターリングのテープのテンションを調節します。

注）リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと動かない様に持ち指をはさまないように気をつけながら差し込みます。フレームを持ちあげると反対側に荷重が掛かり、リッジポールの端部を曲げる危険があります。

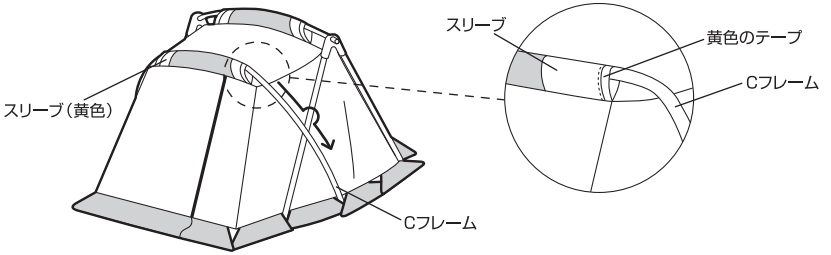




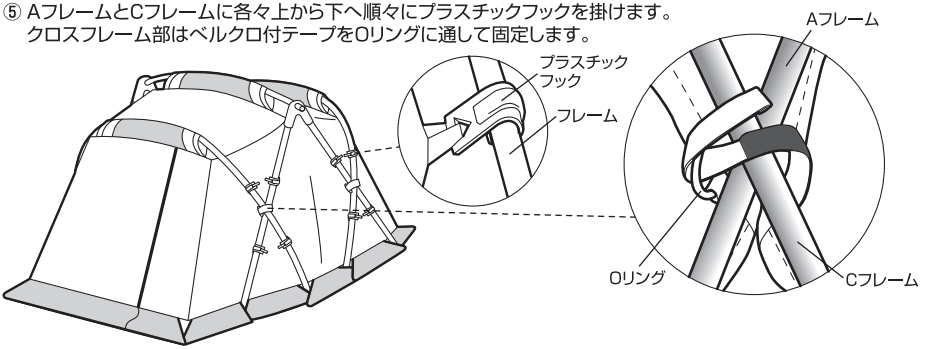
リングピンを差し込む際に矢印の様に持ち上げてしまうと、反対側のAフレームジョイント部のリッジポールに無理に荷重が掛かり曲げてしまう。

④ 黄色のシールのついたCフレームを少しずつ継ぎ両サイドにある黄色のテープがついたスリーブに通していきます。
次に③同様にリングピンを差し込みます。片側のCフレームを立てた後もう一方のCフレームもたち上げます。

注）Cフレームも、少しずつ継ぎスリーブに通します。CフレームはAフレームの外側を通します。

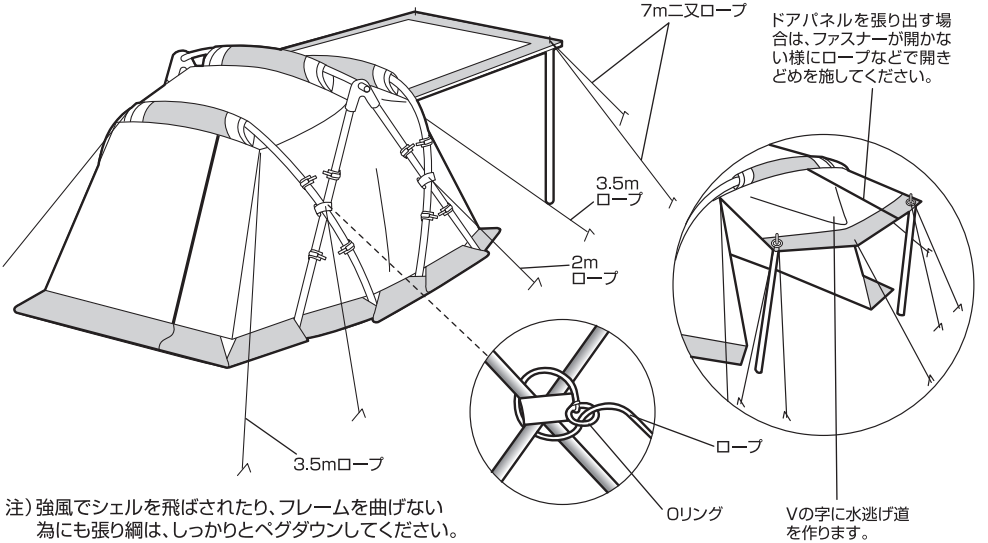


⑤ AフレームとCフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けます。
クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定します。



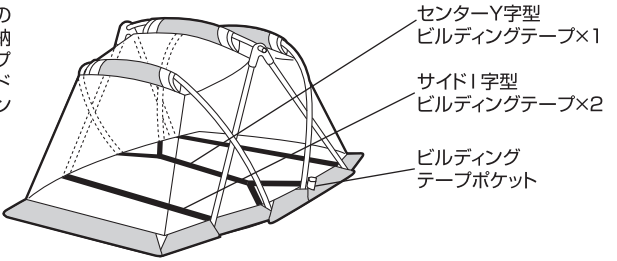
⑥ 裾部リングピンに付いている、ペグダウン用テープ及びペグダウン用ゴムループにペグを通し、全てペグダウンをします。設営後にビルディングテープを外す場合は、ビルディングテープ各エンドのペグダウン用テープは、室内側にテンションをかけて行ってください。出入口用ドアパネルを張り出す場合は付属のアルミポールを2本使い二又のロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。

注）降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープで下げ、水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。



注）強風でシェルを飛ばされたり、フレームを曲げない為にも張り綱は、しっかりとペグダウンしてください。

⑦ 必要に応じて最後にビルディングテープのバックルをはずし、テープをポケットに収納してください。(設営後にビルディングテープを外す場合は、ビルディングテープ各エンドのペグダウン用テープは室内側にテンションをかけて行ってください。)



■収納時の注意事項

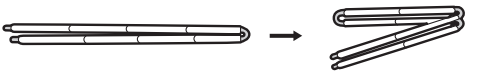
□ 十分に乾燥してから収納してください。

□ 撤収の前にビルディングテープのY字型とI字型のバックルをセットします。次回設営時にペグダウンの位置が決まりやすくなります。
※Y、I 字型部のペグダウンをシェルの外側から行なった場合本体が広がり、撤収時に再セットしにくくなりますので室内側でペグダウンされることをお勧めします。

□ フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。

□ スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあり生地を傷める場合があります。

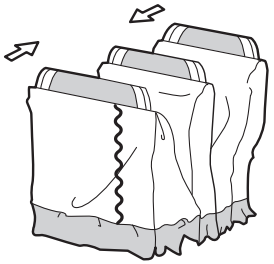
□ フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。
端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切れ、フレームの曲がり、折れの原因になります。



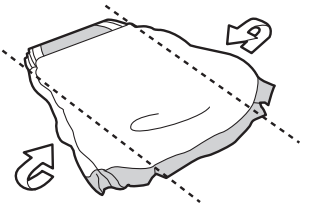
□ ペグを全て抜き、よごれを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。

■ケースへの収納

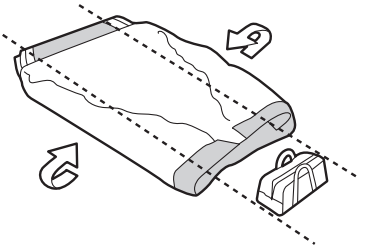
① Cフレームのスリーブを合わせます。



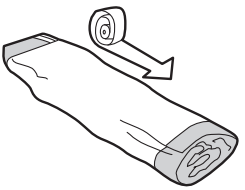
② スリーブの幅を残して余分な部分をたたみます。



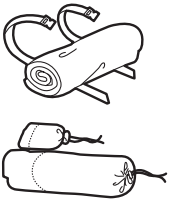
③ 長方形になった本体をケースの長さとなる様にたたみます。



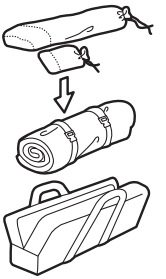
④ ケース幅になった本体を、スリーブの方から裾部に向かって、回して手前に引き寄せ、ヒザで押さえながら巻いて行きます。



⑤ コンプレッションベルトを2本掛け細く絞ります。



⑥ 本体をはじめに入れその上にペグケース、最後にフレームを入れます。



□ ポールやペグはそれぞれ付属の専用ケースに先端部が上になるように入れ、キャリーバッグに収納してください。
むき出しの状態で収納すると本体生地を損傷することがあります。

永くお使い頂くために

スノーピーク製品の優れた品質は正しい取り扱いとメンテナンスにより維持されるものです。プロダクツの機能を損なわないためにも、以下のポイントに留意してください。

応急処置

- □ 不測の事態によりフレームや、本体生地が損傷する場合がありますので、リペア用品（ガムテープ、ビニールテープ、添え木になるようなパイプなど）を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、大がかりな修理が必要になったり、修理不能になる場合があります。損傷度合いが激しいものは速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ 本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ フレームが折れたときは速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

撥水・防水性能について

- □ リビングシェルはナイロン生地とポリエステル生地を組み合わせて使用しています。いずれの生地にも高性能の撥水加工を施しておりますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- □ 撥水・防水加工の生地を使用しておりますが、使用頻度により変わりますが長くご使用になると機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーを使用してください。防水性が衰えてきたときは市販の防水液を使用してください。（スプレーをご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。）
- □ 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合がございます。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- □ 強力な撥水材の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

- □ 本製品の生地はUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。

※ UVカット加工は、紫外線による人体への影響や素材劣化を防止するものではありません。

- □ テント素材は長期間日光にさらされた場合、退色や強度低下などの劣化を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- □ 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- □ 本製品はナイロン生地とポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また濡れたままの保管は避けてください。
- □ 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- □ カビが生えてしまった場合、付着した色を除去することは出来ません。表面に出ているカビを取り除き、アルコールなどで除菌してください。また、カビによりPUが破壊され水漏れが発生する場合がございます。
- □ フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- □ 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- □ ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- □ 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- □ シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合がございます。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変質したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングがいっしょに剥離された場合、修理できなくなる可能性がございます。
- □ ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- □ 次回のキャンプに備え、ペグなどの付属品も含め十分に保守、点検をしてください。

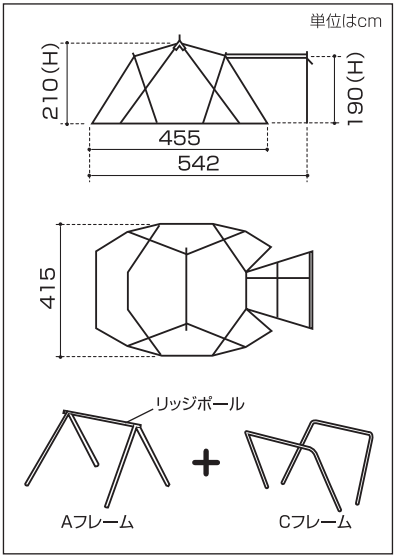
修理について

- □ 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- □ 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- □ 修理品には修理箇所がはっきりと分るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- □ 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。

1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

品質表示
TP-650 ランドブリーズ・リビングシェルPro.

本　　体／210Dポリエステルオックスリップストップ
　　210Dナイロンオックスリップストップ
　　（PUコーティング耐水圧3000mmミニマム）
　　UVカット加工・テフロン撥水
　　（初期撥水100点、5回洗濯後90点）
マッドスカート／210Dポリエステルオックス
　　PUコーティング
フレーム／Aフレームφ19mm
　　リッジポールφ16mm
　　Cフレームφ19mm
ポール／ 190cmアルミポール×2
ペグ／ソリッドステーク20（クローム）
ロープ／PPロープ　7m二又×2、3.5m×4、2m×4（Oリング付ロープ）
　　コンプレッションベルト×2
キャリーバックサイズ／73×32×32cm
平均総重量／20.0kg（本体、付属品含む）



品質保証について

スノーピークのプロダクツは、フィールドで確実に機能するためにフィールドテストからスペックが決定し、長期間にわたって使い込んでいただけるような品質管理がなされています。万一、明らかに製造上の欠陥による問題が生じたときは、無料で修理又は新品と交換させていただきます。また、以下のような破損につきましては保証できませんのでご了承ください。

1.不測の事故による製品の破損
2.誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3.経年変化や紫外線の影響による素材の劣化
4.その他製造上の欠陥以外による製品の破損
5.改造品の破損

※ご不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店又は弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

株式会社スノーピーク
〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110　fax:0256-38-1015
www.snowpeak.co.jp
MADE IN CHINA